

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 ステップワン湯本校

保護者等数(児童数):17家庭(18人) 回収数:17家庭 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	17	0	0	0		
	2 職員の配置数や専門性は適切である	16	0	0	1		
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	16	0	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	17	0	0	0		
適切な支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	17	0	0	0		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	17	0	0	0		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	17	0	0	0		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	15	0	0	2		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	13	1	1	3	・コロナ禍の為、交流は難しいと思います。	
適切な支援の 提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	17	0	0	0	・契約の時に、詳しく説明してもらった。	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	17	0	0	0		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	12	1	0	4		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	17	0	0	0	・連絡帳でやり取りし、子供の様子を連絡できています。	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	17	0	0	0	・育児に関して困っている時は助言を頂いています。	
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	3	3	3	8	・あまり求めている。	
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	16	0	0	1		
17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	17	0	0	0			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	17	0	0	0		
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	17	0	0	0		
非常時等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	17	0	0	0		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	13	0	0	4		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	16	1	0	0	・とても楽しみにしており、保育園に行くモチベーションになっている様子です。	
	23	事業所の支援に満足している	17	0	0	0	・子供にとっても親にとっても、とても助かっています。	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 1日

事業所名 ステップワン湯本校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・利用定員に対する設置基準は満たしています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		・利用定員に対する設置基準は満たしています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・TEACCHプログラムを取り入れ、構造化された環境でお子様にわかりやすく伝えていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・お子様が帰った後には事業所全体を掃除し、消毒もしています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・業務改善のための会議を開催し、様々なことについて話し合い、改善努力をしています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・保護者様のご意見は全職員で共有し、検討すべき項目については会議等で話し合い、迅速に対応できるようにしています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・ホームページ上で公開しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	・当事業所では第三者評価を行っていません。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・事業所内外の研修に積極的に参加できる機会が与えられていると考えます。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・様々なアセスメントを行い、ニーズや課題を職員全体で検討し、児童発達支援計画を作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・必要に応じて標準化されたアセスメントツールを活用し評価を実施しています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に則した支援内容を個別支援計画に記載し、保護者様に説明し同意を頂いています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・個別支援計画書に沿った支援が出来るように努めています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・活動に当たっての留意事項や、注意点などの検討を職員全員で行っています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・プログラムが固定化されないよう、季節にあったものを取り入れたり等、工夫をしています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		・モニタリングや、振り返り等で本人に合った計画を作成しています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・必ず打ち合わせを実施し、利用児童の確認、支援内容の役割分担等について確認し、職員間で情報を共有しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・特に気になったものについては、その日のうちに話し合い、それ以外については翌日の朝のミーティングを利用し、共有しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・こまめに記録を取ることを徹底し、その結果を検証し、改善につなげているよう努力をしています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・6ヶ月に1度以上のモニタリングを実施し、必要に応じた計画の見直し、作成をしています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・管理者、児発管が参加することを原則としています。より精通した者がいる場合には、その者が積極的に参加できるように努めています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・保健福祉センター、幼稚園、保育所と情報共有や支援について連携を図っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	・現在、医療的ケアが必要なお子様のご利用はありません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	・現在、医療的ケアが必要なお子様のご利用はありません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・移行先や保護者様の要望に応じて情報提供を行っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・移行先や保護者様の要望に応じて情報提供を行っています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・本年度はコロナ禍ということもあり対面での研修の機会は少なかったですが、積極的にオンライン研修等に参加しています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	・普段と違う場所や、慣れない人との交流が苦手な利用者様が多い為、安定して過ごして頂くことを優先とし、今のところ交流や定型発達児との活動は行っていません。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	・コロナ禍で本年度は開催されていません。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・連絡帳を活用したり、送迎時に負担にならない程度の時間を使って状況や課題を話し合っています。必要に応じては、電話や事業所内での相談等を行っています。共通理解に努めています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	・ペアレント・トレーニングは実施できていません。	・ペアレント・トレーニングとしてはありませんが、対応の仕方、声かけの仕方を一緒に考えたりお伝えしたりしています。 ・職員がペアレント・トレーニングの研修を受け、今後どのように開催できるかを検討中です。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時に説明し、変更等があった場合には、お知らせ等を配布し同意を頂いています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		・ガイドラインに基づき作成した児童発達支援計画書を説明し、保護者様にご確認頂き同意を頂いています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・相談等にはチームで考え、助言や支援を行っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	・一昨年度までは保護者会を開催しておりましたが、コロナ禍で本年度は開催されておりません。	・今後、Zoom等のオンラインでの開催も検討しております。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・ブログや会報(ステップワンだより)で活動内容等を発信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		・個人情報については、社内研修を行い十分に注意するよう努めています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・意思の疎通が難しい利用者様には、感情表現絵カードや、PECS等を用いてコミュニケーションを取っています。	
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	・コロナ禍で本年度は開催されておりません。	・コロナが収束したら、地域交流を検討しています。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		・マニュアルを作成して職員研修を実施し、発生を想定した訓練を実施しています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・年2回実施。避難訓練計画書に基づき訓練を実施し、実施報告書を作成、それを検討し次回の訓練に生かしています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・持病や予防接種についての情報を契約時に得ています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・アレルギー情報については保護者様から情報提供をして頂き、医師の指示がある場合にはそれに従った対応をしています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・ファイルにまとめ、職員誰でもが確認できるようにしています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・法人内に虐待防止委員会を設置し、虐待防止研修会や、権利擁護研修会に参加したり、虐待防止マニュアルを活用し社内研修をおこなっています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		・必要な時には個別支援計画書に記載し、保護者様の合意を得ています。方法や時間については必要最低限となるよう職員間で話し合い決定しています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。